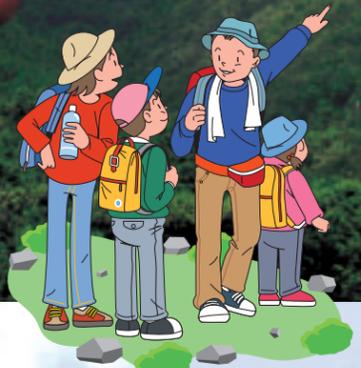




市街地から北を眺めて、アンテナのある山が三登山です。



カタクリの群生、満開の桜、頂上付近のツツジ、山ぼうしまた、山麓のリンゴなど、四季折々の表情を楽しむことができます。



わかつき みとやま  
**若槻 三登山**  
トレッキングコース 923m

善光寺平を見下ろす三登山、髻(もとどり)山は、戦国時代は北国街道沿いの要衝でした。往時をしのびながら山城跡をめぐる歴史散策コースです。



このコースは、若槻地区のみなさんによる三登山トレッキングコース愛護会によって護られています。

お問い合わせは…

**長野市産業振興部観光課**  
phone.026-224-5042  
http://www.city.nagano.nagano.jp/  
e-mail:kankou@city.nagano.nagano.jp

**ながの観光コンベンションビューロー**  
phone.026-223-6050  
http://www.nagano-cvb.or.jp  
e-mail:omotenashi@nagano-cvb.or.jp

**三登山トレッキングコース愛護会 (長野市若槻支所内)**  
phone.026-296-3908



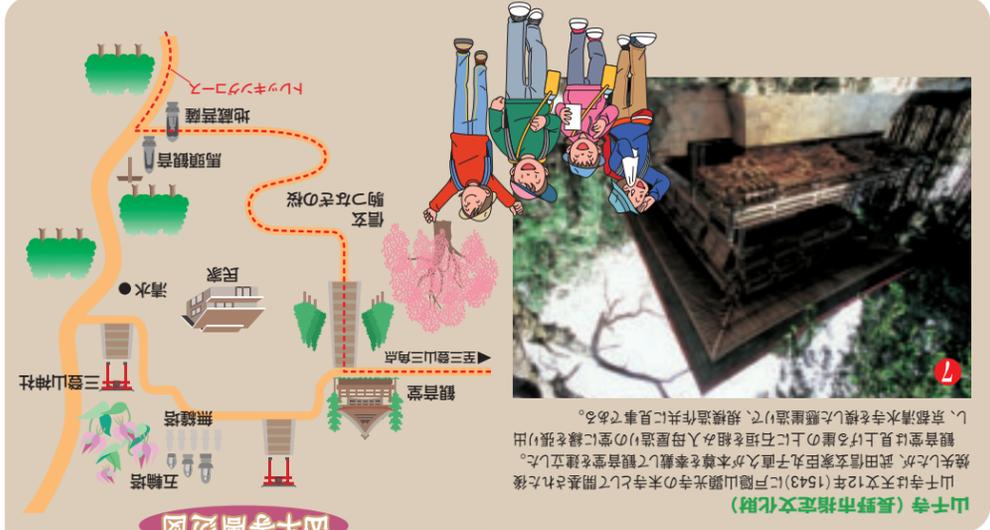
山頂付近のVIEW POINTから



① 山千寺のシダレザクラ  
② コース案内看板  
③ カタクリの花  
④ リンゴの実



**三登山山麓**  
山麓には出陣した上杉謙信が水を求め井戸を掘らせたが兵を養う水量がなしく、守り本陣として大切にしていた黄金の千手観音像を投じて折願したところ、こんな清水が湧き出した。  
その後村人が泉のほとりに堂を建て、泉からすくい上げた観音様を奉ったが、いしかお堂も倒れ観音様は村のお寺に移したとされるものの現在その行方は不明である。



**山千寺周辺図**  
山千寺は天文12年(1543)に戸隠山頭光の末寺として開創された後焼失したが、武田信玄家臣丸千重久が本尊を奉養して観音堂を建立し、京部清水寺を模した懸崖造り、規模造りに見事であり、探訪の滞りに当時の6年1組の児童若槻小学校で実演した若槻山城全寮に位置している。平成15年5月9日に若槻山城と山城を結ぶ尾根の中間に位置している。平成15年5月9日に若槻山城と山城を結ぶ尾根の中間に位置している。平成15年5月9日に若槻山城と山城を結ぶ尾根の中間に位置している。



**若槻山城跡**  
「八幡」と呼び、山城本郭の北の備えである。こま呼の間に山頂のフツ子を指す。これより北には更に幾つかの堀切と郭が連なり北からの守りに意を注いだ様子が見え、これらの機能は明確ではないが、甲越合戦に際して後継やその北部の後継の動静を探り「八幡」と呼ぶ。これは山頂のフツ子を指す。これより北には更に幾つかの堀切と郭が連なり北からの守りに意を注いだ様子が見え、これらの機能は明確ではないが、甲越合戦に際して後継やその北部の後継の動静を探り「八幡」と呼ぶ。

**古吉墳群**  
10ヘクタール程度の地域に古墳63基、らしきもの32基、計95基が密集する大古墳群である。6世紀の造築で渡来人のものと思われる。最大の古墳は第75号墳で羨道のある横穴式石室を有し高さは4mに及び、北方の第31号、33号墳は総穴式の大形古墳であるが、共に2個の石室を持つ。コースに近い第3号墳の横穴式石室の奥壁には合掌している座像の彫刻があり注目される。



四季折々の自然、展望・史跡ウォッチングを楽しみながらあなたに合ったコースを歩いてみよう!

# 善光寺平を見下ろす若槻三登山を頂点に延べ23kmのダイナミックなトレッキングコース



北アルプス連峰  
坂中峠からここまでは車  
通行可。(でもかなり狭  
い道なのでご注意ください)

アンテナ管理道路  
通らないでね!

林を一步踏み出れば…  
コース一番の絶景が!

注意!トラックが通ります。

ゴミは持ち帰りましょう。自然環境の保護にご協力をお願いします。  
季節によっては野生動物にご注意ください。

- 縦走コース** 14km(7時間)  
若槻支所—蚊里田八幡宮—山城跡—坂中口—三登山—八方峠  
若槻支所—旧水道道路—髻山城跡
- 山城コース** 4.9km(4時間)  
若槻支所—山城跡—坂中口—蚊里田八幡宮—若槻支所
- 山城～三登山コース** 8.2km(5時間)  
若槻支所—蚊里田八幡宮—山城跡—坂中口—三登山  
若槻支所—蚊里田八幡宮—山千寺
- 髻山コース** 3.8km(3時間)  
吉駐車場—観音清水—髻山城跡—三登山(林道経由)—吉駐車場
- 史跡散策コース** 1.8km(2時間)  
吉諏訪社—吉古墳群—山千寺

三登山は若槻の北に響える、アンテナが立ち並ぶ山塊で、東に目を移せば八方峠を経て髻山まで連なり、髻山頂からの眺望は格別です。